令和８年度第２回三崎地区小学校再編に関する地域協議会　会議録

〇日　時　　令和８年７月 24 日（金）18 時 26 分～19 時 53 分

〇場　所　　市民交流センター　研修室

〇次　第

１　教育長あいさつ
２　開　　会
３　議　　事
（１）　審議事項
議案１　令和８年度第１回三崎地区小学校再編に関する地域協議会会議録の承認について
（２）　意見交換
ア　三崎地区小学校の再編について
４　閉　　会

〇出席委員（13 名）

座長　小清水　宣雄	委員　鈴木　邦久	委員　菱沼　拓也
委員　柴谷　肇	委員　大森　英理亜	委員　山田　光雄
委員　青木　広美	委員　町田　香里	委員　宮坂　和彦
委員　伊藤　修也	委員　高梨　真一	委員　増田　格人
委員　高橋　健二		

〇欠席委員（１名）

委員　藤　太郎

〇事務局（５名）

教　育　長	及川　圭介	教 育 部 長	鈴木　基史
教育総務課長	浦西　伸一	学校教育課長	松田　寿雄
教育総務課ＧＬ	阿井　俊弥		

◇　18 時 26 分　開会　◇

〇事務局　　お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

ただいまより令和８年度第２回三崎地区小学校再編に関する地域協議会を開催いたします。まず、開会に先立ちまして及川教育長よりご挨拶申し上げます。

〇教育長　　それでは改めましてこんばんは。夕刻のお忙しいとき、今日はお暑い中というのがいいかもしれませんけれども、お集まりいただきましてありがとうございます。

第２回の三崎地区小学校再編に関する地域協議会ということであります。このことについてはいろいろと関心をいただいているところで、私もいろんな声を聞いていますけれども、先日、小規模の指導を売りにしている塾があるんだから、学校も小規模でいいじゃないかというようなお話をいただきました。その話を聞いてですね、皆さんそれぞれどう思うかっていうことも大切なところなんですけれども、私としては学校ってどういうところなのか、どういうものなのかっていうことの説明といいますか、理解をしていただくことが不足しているのかなと反省したところであります。

その答えといいますかね、やはり学校ってどういうところなのか、どういうところであってほしいのかということが答えになっていくのかなと思うのですけれども、それは今の学校教育ビジョンの改訂を令和５年にいたしましたけれども、そのときに取らせていただいたアンケートの中で地域の方、保護者の方の意見として多かったのは、学校は学びの場ですから当然その基礎的・基本的な学力を身に付けてほしいというのが多くあります。その次として社会性であったり、コミュニケーション力であったりそういうものを身に付けてほしい。あとは多くの考え、意見、人も含めてですね、そういうものに触れる場であってほしいということ。また、人を思いやる心を育ててほしい。そういう場であってほしいというのが、そのときのアンケートでの多い意見でありました。

学校っていうのは集団だから意義があるというふうに思っています。多くの子どもたちが集まって、その中で多様な意見に触れ、多様な人に触れ、そして学んでいく。例えば協調性などについて、身に付けていったりというふうな学力だけでない、非認知能力とも言いますけれど、そういうものを身に付ける場であるべきだというふうに思っています。

今、三崎地区の３つの小学校の在り方についてご意見をいただいております。子どもたちが学ぶ環境としてどうあったらいいのか、子どもを真ん中に据えて、それぞれ活発なご意見をいただけたらありがたいなと思っています。

今日は前回よりも30分ほど長くさせていただいて、ご協議をいただく時間を多めに確保させていただきましたけれども、ぜひですね、それぞれご意見を聞かせていただきながら、今後につなげていくことができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

〇事務局　　ありがとうございました。教育長はここで所用のため、退席させていただきます。ご了承をお願いいたします。

〇委員　　教育長がいらっしゃるときにお聞きしたいです。この協議会で統廃合をやらないっていう結論はあるのですか。

〇教育長　　その選択肢については否定しないということでずっと進めてきております。３校そのままでいくというのも一つの選択肢でございます。

〇委員　　それはよく覚えておきます。

〇教育長　　よろしくお願いいたします。

〇事務局　　よろしいでしょうか。

〇委員　　ありがとうございます。

（及川教育長退席）

〇事務局　　それでは小清水座長、開会をお願いいたします。

〇座長　　それではよろしくお願いします。

ただいまより令和８年度第２回三崎地区小学校再編に関する地域協議会を開会いたします。なお、本日は藤委員から欠席の連絡がございましたのでご報告申し上げます。

それではさっそく議事に入らせていただきます。

はじめに審議事項の議案１　令和８年度第１回三崎地区小学校再編に関する地域協議会会議録の承認についてを議題といたします。会議録の案につきましては、すでに皆様のお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆様のご意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については、座長一任とすることについてご承認いただきたいと思います。修正等のご意見があればご発言をお願いいたします。

（発言等なし）

〇座長　　よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。議案１　令和８年度第１回三崎地区小学校再編に関する地域協議会会議録について、別紙会議録案のとおりとすることについて、併せて誤字脱字等の修正につきましては座長一任とすることについて、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

〇座長　　ご異議ないようですので、会議録につきましてはそのようにいたします。

続きまして、意見交換の三崎地区小学校の再編についてに入ります。

事務局より説明をお願いいたします。

○事務局　それでは説明をさせていただきます。大変申し訳ないのですが資料の差替えをお願いします。意見交換の内容についてという資料をお渡ししましたが、１番の⑶に誤字があり、統合校に修正をしまして、本日、机の上に置かせていただきましたので差替えをよろしくお願いいたします。

まず、前回の地域協議会では三崎地区の各小学校の特性を十分に生かしながら、最終的にはプラスになる再編ができればという意見もありました。それ以外にはこの学校とこの学校を統合して、数年後に別の学校をさらに統合するということではなく、効果的に進めていけた方がいいのではないか。あとは児童が予想以上に減少しているということがあるので、早めに方針を出していくことも大事ではないかというような意見がありました。

それで本日の資料の「●意見交換の内容について」を見ていただきたいのですけれども、今回、三崎地区小学校再編の基本方針について、教育委員会としては今年度に決定したいと考えております。その内容がこちらに記載してあります。⑴統廃合の時期、⑵統廃合の対象校、⑶統合校の位置、この３つを決定したいと考えておりますので、まずこちらの意見をお聞きしたいというのが１つです。統合するということになった場合に、懸念事項というのが前回の剣崎小学校と南下浦小学校のときにも話があったんですけれども、どうしても通学距離が延びることによって心配される通学の安全性ですね。このことについてもご意見をいただければと思います。それと統合による教職員の減少について、こちらについてもご意見を、特に学校からのご意見をいただければと思います。あとは学校の廃止後の利活用ですね。避難所等がありますので、その利活用についてのご意見をいただければと思っております。

参考に先ほど教育長からもお話があったと思うんですけど、これは学校教育ビジョンの改訂のときに行った教職員・保護者・市民アンケートの結果分析でございます。こちらは学校教育ビジョンの抜粋になりますが、先ほど話があったように三者ともやはりコミュニケーション能力の育成と社会性の育成、こちらについて学校教育に重要視するものということが多かったと回答がありました。それ以外には多様な考えに触れること、自尊心、思いやりの心の育成、あとは基礎的・基本的な学力を伸ばす教育というのがありましたが、基本的には重要視したいもので多かったのは、コミュニケーション能力と社会性の育成を教職員・保護者・市民が求めているという結果になっております。

次に２番目の望まれる適正規模、こちらにつきましても教職員は21人から30人規模、保護者も同じく21人から30人の規模という回答が多かったです。あと、クラス数は教職員の６割以上が12学級以上、複数学級が必要であるということです。保護者も同じく７から11学級と12学級以上という回答が多かったので、やはり１学年１クラスではなくて、複数学級が良いのではないかという回答が当時のアンケートにありました。

解決すべき保護者の不安は、こちらにも先ほど言ったように特に統廃合に反対する意見の理由として一番多かったのが、通学の安全性が心配であるとの回答があったので、先ほど話したように懸念事項の１つとしてご意見をいただければと思います。

それと学校施設の活用について、こちらは市民の意見を反映しながら活用方法を検討するという形に学校教育ビジョンの方でもなっておりますので、このことについてのご意

見をいただければと思っております。

現在、グループの形で席が分かれている状況なので、前回と同じような形でグループの中で意見交換をしていただいて、また代表の班長の方にグループでの内容を発表してもらった後に、皆さん共通認識を持って議論できればと思っていますのでよろしくお願いします。

説明は以上です。

○座長　ただいま事務局より説明がありました。この件につきまして、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

（質問等なし）

○座長　よろしいでしょうか。では早速、グループに分かれての意見交換をお願いいたします。

（グループに分かれての意見交換、意見のまとめが終了）

○座長　時間になりましたのでよろしいでしょうか。それぞれの班長からグループでまとめていただいたご意見をお願いします。まずはグループ①からよろしくお願いいたします。

○グループ①班長　グループ①では、統合するなら方向性をしっかり決めて、その場合の課題になるというか困難であろう点を出して、そこを解決していきながらやっていった方がいいんじゃないかという話が最初に出ました。

まず、統廃合の時期について、三崎小学校は令和10年度にもしかすると２年生と３年生で複式学級になる可能性がある。今は18人ですけれども、若干の異動や支援級への在籍とかそういう可能性を考えると、令和10年度が一つの目安になるだろうとか、子どものことを考えると仕方がないという意見が出ました。

その後に統合における懸念事項について、いろいろお話を聞きました。やはり一番は安全に通学できるかという部分で、そこは保護者の方も一番心配されていることだと思いますので、例えばスクールバスが必要なのかどうか、又は、車での送り迎えが増えることが予測されるため、安全に送り迎えできるスペースがあるのか、そういう対応を考えなければいけないのではという意見がありました。

教員数の減少については、統合後の人数は今の１校の教員数ともう１校の教員数を足した人数よりは減りますので、やはり外から見ると心配な部分があるんじゃないかっていう話があったんですが、質と量という話で考えたときに、人数は量ということになりますが、実際には２クラスになると２人の教員が一つの学年を持って、例えば授業交換することによって、２人の教員がそれぞれのクラスを見て、学年全体を見れるとか、又は、教科交換することで片方が理科、もう片方が社会を受け持つことで同じ授業が２回できるので授業の質が上がってくる。子どもたちの理解度が上がってくるとかそういう

話も出ました。

あとですね、通学距離などの話がありますけれども、学校って学校と地域と家庭が一緒になってつくっていくものなので、統合すると範囲が広がるので、そうすると地域から子どもがいなくなる可能性や見守りとかの活動がどうなっちゃうのかなっていう懸念もあったんですけども、それについても心配もあるけども逆に良さもあるのではないかというお話も出ました。例えば南下浦小と剣崎小の場合ですと、旧剣崎小学区では今も各家庭からバス停までスクールガードさんが見守りについていただいています。地域の行事についても、例えば南下浦の菊名の飴屋踊りには旧剣崎小の子どもたちがみんなで見に行くし、逆に旧剣崎小の盆踊りには地域の方が用意してくださったポスターをたくさん貼って、旧南下浦小学区の子どもがいっぱい参加して、そういう形で逆に広がったっていう部分の意見等もありました。

また、統廃合後の避難所という⑶の部分もあるのですけども、避難所として体育館がある程度整備されて残していただければ、それは間違いなく安心だという話になりました。それ以外にも、実際に進めていくと、社会体育のことも考えていかなきゃいけないでしょうし、また、統合後の学校がどこになるのかわからないのですが、例えば三崎小学校では「ことばの教室」があって、そこは特別な施設で防音設備がなければいけないのですが、そういうのをきちんと設置しなきゃいけないとか、あとは学童がどうしても必要になってくるので統合後はどうなるのかなどが課題として上がってくるのではないかと思われるので、そういう課題をどんどん前向きに解消していく方向で、話し合って決定してもらえるとありがたいという話もありました。

少し前に戻りまして、基本方針の部分についてなんですけども、⑵統廃合の対象校ということで、今の統廃合検討対象校は三崎小学校の１校なんですけれども、南下浦地区で１校を統合したときには、その子どもたちに２回目の統廃合を経験させないという６年間の制限も含めて考えました。具体には三崎小は統廃合検討対象校なので、例えば三崎小と岬陽小が統合したとすると、その数年後には名向小が当時の三崎小のような統廃合検討対象校の規模になってしまう。それなのに６年間はずっと待つのか。反対に６年間の制限を考慮しない場合、例えば支援の子であるとか、環境の変化に弱い子が短期間で統合を２回経験するというのはなかなか厳しいんじゃないかとの話も出ました。

このグループの中では、行く行くやらねばならないのであれば、一度に３校を統合した方がいいんじゃないかという意見で今回はまとまりました。３校を一度に統合することで、市内を回っていただいているＡＬＴ（外国語指導助手）、ＳＣ（スクールカウンセラー）やＳＳＷ（スクールソーシャルワーカー）の訪問頻度も増え、中学校との連携っていうのもやりやすくなるでしょうし、そういう部分では良い面もあるんじゃないかなという意見も出ました。

統合校の位置については、あくまでも現段階でということですが、学童のことも考えたりとか、施設の新しさを考えれば岬陽小学校が無難ではないかという話が出ましたけれども、そうなったときにスクールバスですとか安全な通学が可能なのかどうか、そこは検討していく必要があったり、車での送り迎えが増えた場合にその学校が対応できるのかそういう意見も出ました。

いずれにしても、各小学校の良さを十分に出しながら、確認しながら新しい学校づく

りに向けて進んでいければいいのではないか。要はある程度もうやると決めるなら決めて、課題をどんどん解決していく。そういう方が前向きなんじゃないかという意見でまとまりました。

以上です。

○座長　ありがとうございます。次にグループ②からお願いします。

○グループ②班長　こちらのグループは、本日意見交換を行う項目ごとに各委員お一人ずつ意見を聞いて、最後に確認してというような形で進めました。

まず、１番目の⑴統廃合の時期について、令和10年度に複式学級の懸念があるっていうところが１つの意見として出ました。また、６年間のうちに統廃合を２回行うことにならないように試算してみてはどうかということでした。１校を統合したら次は６年間できないのであれば、ここととここならできるけど、やっぱり３つじゃないといけないんじゃないかとか、いろんな意見が出てくるのかなっていう話が出ました。そのほかには小規模でずっとそのままやっていくということも１つの選択肢なのではないかということで、要はゼロになるまで維持するというような意見も出ました。後ほども出てくるんですけど、小規模特認校というような考え方をつくるっていうのもあるのではという意見も出ました。

⑵統廃合の対象校なんですけれども、３校を１校にっていうところでいうと通学時の送迎の問題とかも考えて決めた方がいいんじゃないかということでした。この３校をどのような方針で、どのような学校づくりをするのかっていうのを決めた上で、その選択肢として統合して１校にするのがいいのか、それとも小規模特認校をつくってそこを売りにする方がいいんじゃないかっていうような意見が出ました。

⑶統合校の位置についてです。比較的には岬陽小というご意見がありました。でもやっぱり雨の日は送り迎えの車ですごく混雑するんですよね。では、三崎小の裏側のお寺さんのところの通りは使えるのかとか、名向小は行き止まりの部分があるからそれではだめなのかどうなのかということで、個別に考えた方がいいということがありました。

あと、この３つの項目以外に地域の社交場としての役割っていうことでも考えていくべきだと。例えば地域の運動会、学校行事であるんですけども、地域の方の社交場になっているということがあるから、そういった面も考えたらいいんじゃないかというご意見が出ました。

また、どんな学校をつくっていきたいかというような議論の上で、その形をつくっていくような話し合いができるといいなという意見も出ました。

次に２番目の統廃合における懸念事項です。⑴統合により通学距離が延びることについてですけれども、様々なデータがあるのでそういうのを参考にしたいという意見が出ました。例えば過去に城ケ島分校、それから小網代分校が無くなったころにスクールバスがどのように使われていたのか。それから初声小の高円坊のスクールバスが現状どんな使われ方をしていてどんな課題があるのか。それから旧剣崎小学区の子どもたちが新しい南下浦小へバスで通っていると思うんですけどそのデータっていうのも、ここの中で検討する材料にしたいというふうなお話が出ました。ほかの地域にもそういった事例

はあると思うので、そういったものも参考になるといいなっていうところでした。

⑵統合による教職員の減少については、経験値が必要な先生方にとって、単級というのはなかなか厳しいというような話が出ました。定数っていうのは決まっているけれども、ほかの地域から見てですね、移住者を意識してといいますか、魅力的な学校、素敵な学校をつくりたいというものがあるということをみんなで考えていって、そこに市として人を付けるとか何か魅力的なものや支えるものを考えていくっていうふうにしたらどうなんだろうっていう意見が出ました。

それから、⑶学校の廃止後の避難所等について、避難地を考えていくっていうのは全市的に考えなくちゃいけないことで、場所だけではなくて、様々な理由で避難地に避難しない人たちがいるから、そういったことの原因もよく考えながらやらなくちゃいけないのではないかということとか、防災危機対策室の方針とかご意見とかっていうのも大事なんじゃないかということで、この議論については、学校の統廃合とは切り離して別に話した方がいいんじゃないかというようなご意見も出ました。

以上です。

○座長　　両グループを通して、ご質問等ございましたらお願いいたします。

（質問等なし）

○座長　　よろしいですか。なければこれで意見交換を終了します。

事務局から何かありますか。

○事務局　　基本方針と懸念事項につきまして、ご意見ありがとうございました。メリット、デメリット両方をうかがったと思っています。そうした中で、今回課題に対して様々なご意見が出ましたので、教育委員会の考え方も説明させていただいて、さらに議論を深めていければと思っていますのでよろしくお願いいたします。

また、次回につきましては日程を調整させていただいてご連絡させていただきます。

よろしくお願いいたします。

○座長　　事務連絡について、ご質問等ございますでしょうか。

（質問等なし）

○座長　　よろしいでしょうか。なければ以上で三崎地区小学校再編に関する地域協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

◇　19時53分　閉会　◇